

宇宙甲子園 大分地方大会開催

問 政策企画課 宇宙・地域共創室 推進係 ☎72-5161

「宇宙」と聞くと、遠い世界の話に思えるでしょうか。ですが、地域の中学生・高校生たちは、空の先を見据えて動き出しています。その足掛かりとなるのが、宇宙甲子園です。

昨年12月に開催された前回大会に引き続き、今年も宇宙甲子園ロケット部門大分地方大会が国東市で開催されます。今回の特集では、大会の概要や見どころをご紹介します。

1 宇宙甲子園とは

宇宙甲子園とは、中学生・高校生がモデル(火薬)ロケットや模擬衛星、観測用気球などの設計・製作技術を競い、宇宙へ挑戦する大会です。

今回開催されるロケット部門は、中学生・高校生が自分たちで設計・製作したモデルロケットを

打ち上げ、その技術を競います。

大分地方大会で優勝すると、福島県南相馬市で開催される全国大会へ、全国大会で優勝するとフランス・パリで開催される世界大会への道が開けます。

★ ロケット部門 競技説明

生卵をのせた自作モデルロケットを打ち上げ、「規定の高度・滞空時間に近づけられたか」「卵を無傷で回収できたか」を競います。設計から製作まで、すべて選手が自分たちで行います。



規定の高度・滞空時間に近づけられるように、ロケットを設計・製作。素材も自分たちで選びます。



卵を無傷で回収できるように衝撃吸収システムを設計します。ヒビが入っていたら失格です。



COLUMN

大会ルールと実際の宇宙開発

大会では、生卵および機体に破損があれば失格となります。

厳しいと思われるかもしれませんが、ロケットを安全に空へ飛ばし、そして宇宙からの荷物を無事に回収することは、実際の宇宙開発の現場でも最重要ポイントです。

選手たちは大会を通して、飛行安全審査や射場での手順順守など、リアルな宇宙開発現場と同様のプロセスを学びます。

大会の見どころ

- ★ **打ち上げの瞬間** エンジンに点火してロケットが空へ上がる瞬間が、一番の見どころです
- ★ **卵は無事?** 「卵を無傷で回収できるか」が勝敗の分かれ目になります
- ★ **チームの工夫** 機体の形やパラシュートには、各チームの工夫が表れています

2 国東高校の挑戦

九州の公立高校で唯一、宇宙を学ぶコースを持つ「日本で最も宇宙に近い高校」である国東高校。生徒たちは、この宇宙甲子園でも成果を上げています。

★ 前回大会で優勝、全国4位

昨年12月に開催された前回大会では、1年生4人によるチームが優勝。今年2月の全国大会に初出場し、全国10校のなかで4位に入賞しました。日ごろの学びの成果が、大きな結果につながりました。



★ 地域の小学生への広がり

今年3月、富来小学校でロケット打ち上げ体験教室が開かれました。国東高校の生徒が講師を務め、紙筒や木材を使って超小型ロケットを製作。高校生の学びが、地域の小学生にも広がっています。



EVENT

宇宙甲子園 ロケット部門 大分地方大会



11月1日(日)

午前10時～午後4時(予定)

会場：国東中学校グラウンド

観覧自由(申込不要)



★ 選手を募集しています【応募期限:9月30日(水)】

中学1年生～高校3年生(高専3年生も含む)が対象。3～10人のチームで参加できます。また、参加希望者に向けて、モデルロケットの仕組みや打ち上げ方を体験的に学ぶ事前ワークショップを9月12日(土)に予定しています。

大会やワークショップへの詳しい参加条件や申込方法は、市ホームページをご覧ください。

★ 大会にご協力いただける方を募集しています

本大会の趣旨にご賛同いただける協賛企業・団体を随時募集しています。詳しくは事務局(政策企画課 宇宙・地域共創室)までお問い合わせください。

詳細はこちら

